

子供の新たな学びの実現に資する 学校管理職マネジメント力強化推進事業・ 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励

1

はじめに

令和7年度より「子供の新たな学びの実現に資する学校管理職マネジメント力強化推進事業」が実施されています。

たな学びの実現のため、学校内外の人的・物的資源を活用し、実社会の課題と学校教育での学びを結び付けることができるような学習を支える環境の整備や、教育課題の多様化・複雑化に対する組織的課題への対応力向上のため、教師同士が学び合う環境の構築に向けて、校長等の管理職のマネジメント能力等が重要です。また、管理職には、様々な学校内外に関する情報を収集・整理・分析及び共有し（アセスメント）、学校内外の関係者の相互作用により学校教育力を最大化していく（ファシリテーション）、総合的なマネジメント能力の発揮が必要です。

このため、教育委員会が実施する管理職研修において、学校における働き方改革を含む、学校の組織としての教育力や課題対応力を最大化するために必要な高度なマネジメント能力等が一層高まるよう、研修プログラムの開発やフォーラムの開催を行っています。

背景・課題

- 教科等横断的、探究的な学習の推進など新たな時代に社会で活躍するために必要な力を育成する子供の新たな学びの実現のため、学校内外の人的・物的資源を活用し、実社会の課題と学校教育での学びを結び付けることができるような学習を支える環境の整備や、教育課題の多様化・複雑化に対する組織的課題への対応力向上のため、教師同士が学び合う環境の構築に向けて、校長等の管理職のマネジメント能力等が重要。
- 管理職には、様々な学校内外に関する情報を収集・整理・分析及び共有し（アセスメント）、学校内外の関係者の相互作用により学校教育力を最大化していく（ファシリテーション）、総合的なマネジメント能力の発揮が必要。
- 国は、教育委員会が実施する管理職研修において、学校における働き方改革を含む、学校の組織としての教育力や課題対応力を最大化するために必要な高度なマネジメント能力等が一層高まるよう支援を講じていくことが必要。

事業内容

事業1：探究型研修の実施・開発を通じた新たな学びの実現（7都道府県・指定都市）

- 各学校の校長と中堅教員（中）・教育委員会の研修担当指導主事等
- 多岐研修では、指導助言大学の参加を得、組織や教員個人の現状把握や課題設定に関する協議、演習を実施。校内実践では、チーム学校として、現状把握や課題設定、行動計画策定、学校運営協議会などを活用し研修を行う。
- 多岐研修と校内実践を繰り返す中で、アセスメント能力、ファシリテーション能力など、学校管理職の総合的なマネジメント力の強化を図るための探究型の研修プログラムを開発する。
- 研修で得られた「気づき」を教職員や地域の方と対話し、校内実践を行うことにより、多様な働き方と協働した探究的な学びや、教科等横断的な学びを実現する。

事業2：新たな学びの実現のための学校管理職マネジメントフォーラム（仮称）の開催

- 全国の校長等の学校管理職
- 事業1の成果報告会等も内容とするフォーラムを開催する。
- マネジメント力強化のための探究型の研修プログラムを普及させる。

費用内訳

協力自治体経費（事業①）	360万円	事業期間	令和7～9年度
運営委員会委託経費（事業②）	200万円		（3ヵ年）
協議会等事務局経費（事業執行）	800万円		

アウトプット（活動目標）

- 探究型研修の実践プログラム開発。
- 全国フォーラムの実施。

アウトカム（成果目標）

- 学校管理職の総合的なマネジメント力向上。
- 研修参加者の「新たな学びの実現」の達成。
- 令和の日本型学校教育（新しい学校の学び）の実現。

（注）：協働教育の発展、教員人事政策課

2

事業の概要

教科等横断的、探究的な学習の推進など新たな時代に社会で活躍するために必要な力を育成する子供の新

3

受託自治体における取組の展開

本事業は、北海道、山梨県、岡山県、山口県、熊本県、沖縄県、熊本市の受託自治体において実施されています。受託自治体からは、本事業の取組成果として、以下の点が挙げられています。

①研修観の転換と継続的な研修サイクルの形成

これまでの「知識伝達型」の研修から、「実践と往還する探究型研修」への転換が進んでいます。特に、集合研修と校内実践を組み合わせ、課題設定→実践→振り返りというサイクルを繰り返すことにより、研修内容が現場の具体的な改善に結び付く構造が徐々に形づくられています。このような取組を通じて、管理職や中堅教員が自校の課題を自分事として捉え、主体的に改善に取り組む姿勢が見られるようになってきています。

複数回の研修と実践を往還することにより、学びが一過性のものにとどまらず、学校運営の中に徐々に定着していくことが期待されています。その結果、研修の効果が個人の力量形成にとどまらず、学校全体の取組へと広がりつつある状況が見られます。

②マネジメント力の具体化

マネジメント力の中身についても具体的な整理が進められています。課題発見力、アセスメント力、ファシリテーション力、関係者との協働といった要素を意識した取組が行われており、経験に依存するだけではない形での管理職の資質能力の育成が図られています。これにより、実際の学校課題に即した実践的なマネジメント力の向上が目指されています。

③個人から組織への学びの拡張

校長等と中堅教員が連携して参加する仕組みや、教育委員会による支援のもとで、「個人の学び」から「組織の学び」への広がりも見られています。研修で得た知見を校内に持ち帰り、対話や協働を通じて共有することで、学校全体の改善に向けた動きが生まれています。このような取組は、教職員間の協働を促進し、組織として課題に向き合う基盤の形成につながっています。

④教育委員会による伴走的支援の強化

教育委員会の関わり方についても、研修を提供する立場にとどまらず、各学校の取組に寄り添いながら支援

する形へと変化が見られます。これにより、学校と教育委員会が一体となって課題解決に取り組む体制が整いつつあります。

⑤目的志向の思考への転換

取組を通じて「目的から考える思考」への転換が進んでいる点も挙げられます。子供の学びや学校の目標といった本質的な目的に立ち返り、そこから施策や実践を設計する考え方が浸透しつつあり、取組全体の一貫性や実効性の向上につながっています。

⑥成果の横展開

各学校における実践のプロセスや成果を整理し、共有する動きも見られます。また、外部人材や地域との連携、データの活用など、多様な資源を生かした学校運営の実践も広がりつつあります。

以上のような点が受託自治体から挙げられています。これらは現時点における受託自治体からの報告に基づくものであり、今後さらなる実践の蓄積と検証が求められる段階にあります。

本事業は令和8年度においても継続して実施しており、これまでの実績を踏まえつつ内容の充実を図りながら、同じ自治体において取組が進められています。今後は、各地域における実践の深化とともに、その成果を共有・普及していくことが期待されています。

4**研修履歴を活用した
対話に基づく受講奨励**

文部科学省では、令和4年8月、教育委員会による教師の研修履歴の記録の作成と、その履歴を活用した資質向上に関する指導助言等の仕組みについて、具体的な内容や手続等の運用を整理した「研修履歴を活用し

た対話に基づく受講奨励に関するガイドライン」を定めました。

本ガイドラインでは、記録の対象となる教師や研修の範囲、対話に基づく受講奨励の方法等の基本的な考え方が示されており、研修履歴の記録や受講奨励そのものを目的化するのではなく、教師の新たな学びに向かうための「手段」として活用することの重要性が明確にされています。

この取組の中核となるのが「対話と奨励」です。研修履歴の記録により、これまで受けてきた研修が可視化されることで、教師自身が自らの学びを客観的に振り返ることが可能となります。その上で、自身の強みや課題、今後伸ばしていきたい分野や新たに能力開発を行いたい領域を見出し、主体的・自律的な目標設定へとつなげていくことが期待されています。

「対話と奨励」は、教師と学校管理職が対話を重ねる中で進められ、教師が自らの研修ニーズや学校における役割を踏まえながら、どのような学びが必要であるかを整理し、主体的に研修に取り組んでいくことが基本となります。管理職は一方的に受講を促すのではなく、教師の意欲や主体性と調和した形で奨励を行うことが求められており、そのためには当該教師の意向を十分にくみ取ることが重要です。

対話を通じて相互理解を深め、教師自身が自らの強みや課題を認識しながら必要な学びを主体的に選択していくプロセスは、重要な要素です。

さらに、こうした取組を支えるためには、教育委員会による研修推進体制の整備も不可欠です。教員研修計画に基づき、体系的・計画的で持続的な資質向上のための体制を構築するとともに、オンラインの活用や研修内容の重点化・精選を図るなど、効果的・効率的な研修の実施が求められます。また、学校においては、大学や民間企業等とも連携しながら、多様な学びの機会を確保し、校内外を通じた学びの充実を図ることが重要です。

最終的に重要なのは、研修履歴の記録そのものではなく、教師が研修で得た学びを学校や教室において実践し、子供の資質・能力の育成や教師自身の資質向上につなげていくことです。「対話と奨励」を通じて、教師の学びを実践へと結び付け、その成果を教育の質の向上へと還元していくことが、今後一層重要となります。